



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」中小企業戦略コンサルタント五十嵐 勉 平成23年05月02日 第509号

中小企業の教育戦略

東京にて、竹田陽一先生の「中小企業の教育戦略」のセミナーがありました。掻い摘んで書いていきます。

「今年の重点経営課題はという問いに、2番目か3番目に出てくるのが従業員の教育。従業員の実力が同業他社より優っていれば、事業を有利に展開できるため、従業員教育は欠かせません。

『能力や技能』を高めるには長い年月が必要。教育はローテク中のローテク。教育の実行は長期計画で根気強く取り組まないと業績の向上には結びつかない。教育には多くの時間と経費がかかるので、あいまいな考えで教育をすると大きなロスが出る。

従業員教育の原則は、自社の商品に合った、レベルの高い営業のやり方を考える。これをまとめた手引書を開発する。教科書の準備。手引書(教科書)を使って、何回も何回も教育する。教育をした後、一定の成果が出るまで「適度な強制」を加えながら実行を続ける。

教育効果の公式は、教育効果 = 従業員の素質 × 教材の質 × 教育回数、または教育効果 = 従業員の素質 × (教材の質 + 教え方) × 教育回数。

従業員100人以下、とりわけ30人以下の会社における教育の担当者は、社長自身になる。大会社のように従業員教育を外部のセミナー会社やコンサルタント会社に丸投げをしてはいけない。それでは教育の差別化ができない。社長自身がインストラクターになる。自社の規模と業種に合った教材を揃える。教育を受けるメンバーを決める。月に1日か2日を研修日(土曜日など)にする。教育した後、参加者の意見を聞き、大事なところは結論をだす。社長は担当すると、従業員の性格や隠れた才能がつかめるようになる。

社長がインストラクターになって従業員教育をしている会社が増えています。確かに会社に一体感が生まれ、業績が良くなっています。

ちょっと
気づける出来事

4月27日(水)、東京中小企業家同友会江戸川支部にて、記念講演がありました。講師は、香川同友会会員の(株)Princess Roomの代表取締役の木村麻子氏。テーマは「真の地域活性化と顧客作り、組織作りの秘訣とは？」～若手女性経営者の思いが香川全土を動かした～。

彼女は、26歳で4畳の小さなお店、ブライダル、イベント等のプロデュース会社をはじめ、5年後に年商1億円に伸ばしました。地域活性化をさせたいと香川全土を巻き込み、年1回の1イベントを開催。昨年は35,000人の集客に成功しました。

22歳になったとき、5年後にブライダルで起業しようと決心しました。そのときから5年後まで年表をつくり、起業するための準備期間として課題を抽出しました。OLをしながら、年次計画を立てて、勉強していきました。計画通り26歳で起業。

今でも5年先、10年先の計画を立てています。彼女は、「目標」の設定をする。その目標を達成するための計画を立てる。それを確実に実行する。結果を残している人は、「目標」「計画」「実行」です。



一口メモ
成功の秘訣

得るは捨つるにあり

「気づいたらすぐする」ことが物事をしとげる秘訣である。

しかし、どうしてもできぬ事がある。行くも帰るも、にっちもさっちも行かなくなる。こうした一生に二度と出会うことのない大窮地に陥った時こそ、度胸の見せどころである。

一切をなげうって、捨ててしまう。地位も、名誉も、財産も、生命も、このときどういう結果が生まれるだろうか。

まことに思いもよらぬ好結果が、突如として現われる。いわゆる奇跡というのは、こうした瞬間に起る、常識をはるかに越えた現象に名づけたものである。

「丸山敏雄 一日一話」(PHP研究所)

●本「会社は潰れるようにできている」(中経出版) 発売中!

●会社成功塾 毎週日曜日、月曜日 午前10時～12時。

戦略社長塾 毎週土曜日 午前10時～12時。

(株)五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

